

# ほっぺん

## 188 白菜



無病息災を願って鬼退治

2月3日の節分を前に、町内の保育園や幼稚園では、豆まきが行われました。

園児たちは、一年の無病息災を願い「福は内、鬼は外」と鬼に豆をぶつけて、鬼退治をしました。

## 今月の表紙

### 薩摩郷句

兼題『梅』

菌痒い孫梅干婆ちきし吐つ  
(唱)可愛がったこて 三毛よつけ悪い  
植村昭子

婆ん手が特上い染めた真つ赤梅  
(唱)良か態い染まつ 婆も満足  
諸木小春

弁当箱小んけ梅が晴れをしつ  
(唱)小んこめ赤が 白飯し映えつ  
二見恵楽満

盆栽の梅ん苔い春ゆば待つ  
(唱)も少つと頑張れ 春やも其処じゃが  
高辻満天

喧嘩翌日亭主の弁当にや梅干し  
(唱)こげな弁当あ 持つ行かならん  
北村虎王

### 大崎短歌会

兼題『立つ』

草もみじ続く野道に芒の穂ふんわり白く旅  
立ちてゆく  
児玉チヅ

今日よりは第二の人生始めんと宝寿園の玄  
関に立つ  
宮原のり

イケメンの小学六年・四年生すつくと立ち  
て背くらべする  
高瀬睦子

あどけなき子らのアイデア数々の手びねり  
茶碗立ち並びたり  
馬場みさ子

水仙の直に立つ群をここに仄かに光る苞  
のふくらみ  
上南紀子

### 大崎俳句会

茶の花や足どり軽く杖忘れ

折田スズ

マフラーを結び直して向ひ風

宮下のし

荷を解けば豊後の秋の香り充つ

益倉睦美

晴れ姿身の丈程のちとせ鮎

坂元つる子

冬の海浮かぶフェリーの霧笛かな

宮脇洋子

友の句集秋の夜長に正座して

内村美恵子

## 人権啓発シリーズ 24-10

### 同和問題① (大崎町人権教育・啓発基本計画より)

#### ■施策の方向性

①同和問題に係る人権問題の解決を図るために、人権擁護委員による人権相談所の相談体制の充実及び法務局(鹿屋支局)との連携に努め、相談者に対する助言や情報提供等を行います。

②住民への教育・啓発活動として、町広報誌への掲載や啓発チラシの配布などとともに、さまざまな場を活用し、研修会や学習会・講演会などを積極的に行います。